

もっともっと  知ってほしい

児童養護施設



全国児童養護施設協議会



児童養護施設ってどんなところ？

「社会的養護」～すべての子どもを社会全体で育む～

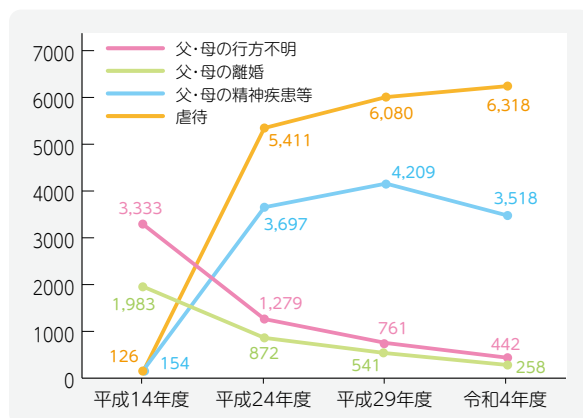
社会にはさまざまな事情により、保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子どもたちがいます。「社会的養護」は、こうした子どもたちを、公的責任で保護・養育するとともに、これらの家庭を支援する仕組みです。児童養護施設は、この「社会的養護」の仕組みの中に位置付けられています。

児童養護施設とは？

児童養護施設は全国に約600施設あり、概ね2～18歳の約2万2千人の子どもたちが暮らしています。（※こども家庭庁調べ、令和7年3月末現在）

児童福祉法に定められた児童福祉施設であり、第41条には「保護者のいない児童（中略）、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする」とされています。

施設への入所手続きは、都道府県等に設置される児童相談所が、公的責任のもとで行っています。



子どもたちの主な入所理由

※こども家庭庁「児童養護施設入所児童等調査結果」（令和5年2月1日現在）をもとに作成

年齢	人数	割合(%)	年齢	人数	割合(%)
0歳	6	0.0	10歳	1,486	6.4
1歳	8	0.0	11歳	1,585	6.9
2歳	101	0.4	12歳	1,684	7.3
3歳	440	1.9	13歳	1,708	7.4
4歳	757	3.3	14歳	1,921	8.3
5歳	896	3.9	15歳	1,963	8.5
6歳	1,080	4.7	16歳	1,910	8.3
7歳	1,159	5.0	17歳	1,815	7.9
8歳	1,262	5.5	18歳以上	1,824	7.9
9歳	1,373	6.0			

児童養護施設の在所児童数

※こども家庭庁「児童養護施設入所児童等調査結果」（令和5年2月1日現在）をもとに作成





児童養護施設の暮らして？

家庭に代わる子どもたちの家

子どもたちの生活の場であり、昼間は学校等に通り、余暇や趣味を楽しんでいます。また、子どもたちが希望や夢を実現できるよう、進学や就職のサポートや、児童養護施設を退所した後の生活を安定させるための支援も行っています。

それぞれの施設の近くには、民家やアパート等を利用したグループホームが増えています。

特別ではなく、ふつうの生活

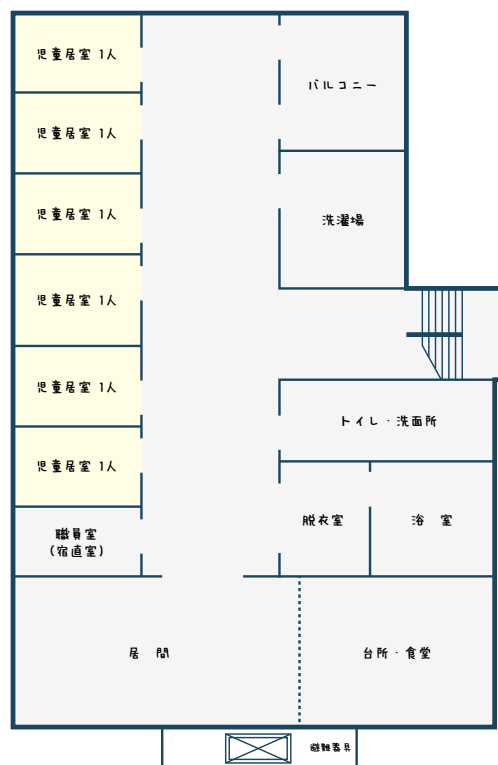
「おはよう」のあいさつで一日が始まり、朝ごはんを食べて、歯磨きをしたら、「行きます」と地域の幼稚園や学校へ登園・登校します。学校が終われば、クラブ活動をしたり、友達と遊びに出かけたり、宿題や読書をする子もいます。また、アルバイトをしている高校生もいます。おいしい夕食と楽しい時間を過ごしたら、「おやすみ」とあたたかい布団で眠りにつきます。どこの家庭にもある風景が、児童養護施設でも日々営まれています。

より家庭に近い生活環境をめざして

児童養護施設での暮らしは、それぞれの施設によって異なります。ひとつの建物の中で少人数のグループに分かれ、より家庭に近いスタイルで生活する施設や、建物の構造自体が小グループの施設、地域の中で少人数で生活する形態の施設など多様です。どの施設も、一人ひとりの子どもに寄り添い、個人の生活を大切にしていける形をめざしています。

ある施設の 間取り図

間取りは施設によってさまざまです。
ここでは一例として
ある施設の間取りを
紹介します。

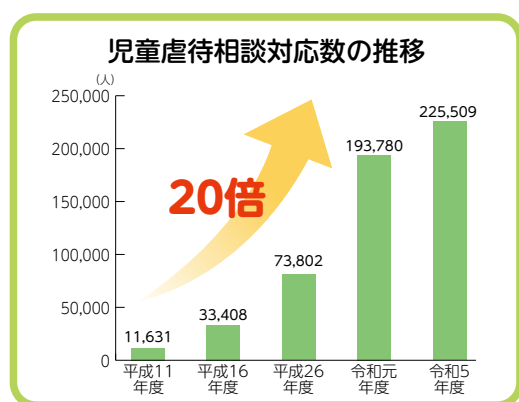




子どもを取り巻く状況と地域支援

近年、児童相談所に寄せられる児童虐待相談は、年間20万件を超えており、日本全体の子ども数が減少傾向にあるなかで、児童虐待の対応件数は高止まりの状況となっています。

家庭を離れて里親・ファミリーホームへ委託されている子どもや乳児院・児童養護施設等で暮らす子どもは約4万2千人であり、そのうち児童養護施設で暮らす子どもは2万2千人（令和7年3月末）ほどで、多くの子どもたちは地域のなかで暮らしています。



児童相談所における相談対応件数

225,509件

一時保護

30,814件

施設入所等
4,524件

児童養護施設 2,129件

乳児院 704件

里親委託等 854件

その他施設 837件

児童養護施設では、入所している子どもたちの日々の暮らしを支えているだけでなく、地域で暮らす子どもへの支援も行っています。

例えばこんなことをしています

（施設によって行っている支援の内容は異なります）

- 緊急時などに子どもを一時的に預かる
- 子育てに関する悩みを職員が聞く
- 家庭を訪問して相談に応じる
- 施設で暮らしていた子どもが家庭に戻れるようサポートする
- 里親や里親と暮らす子どもをサポートする
- 施設を退所した子どもの生活相談や心のケアをする など





児童養護施設で働くって？

職場であり家庭である

児童養護施設は、子どもたちが日々の生活を送る「家」です。子どもたちにとって、ともに「家」で時間を過ごす職員は家族のような存在でもあります。児童養護施設は、職場であると同時に家庭であり、職員は職業人であると同時に子どもに寄り添う一人の養育者でもあります。



児童養護施設の「養育」とは

子どもたちが、自分の存在を肯定的に捉え、「生まれてきてよかった」と感じられるようになるためには、安心して自分を委ねられるおとな（養育者）の存在が必要です。心のこもった食事が用意されみんなで食卓を囲むこと、部屋がいつも大切に手入れされていること、言葉や振る舞いがさり気なく配慮されていること…。児童養護施設における「養育」は、これら一見、些細で平凡な日々の営みの中に、実は自然によく考えられた日常生活の積み重ねと、安定した継続を通して行われています。

児童養護施設で働く主な専門職

児童養護施設では、さまざまな資格や経験を生かして、子どもたちの暮らしをチームで支えています。

児童指導員／保育士 … 保護者に代わり、子どもの養育の中心的役割を担います

家庭支援専門相談員 … 保護者などへの支援を通じて、親子関係の再構築を図り、子どもの家庭復帰などを支援します

里親支援専門相談員 … 里親委託の推進や地域の里親の支援を行います

個別対応職員 … 虐待を受けた子どもたちに、個別に充実した支援を行います

自立支援担当職員 … 就職、自立の支援や退所後のアフターケアを行います

心理療法担当職員 … 子どもたちを心理面から支援します

栄養士 … 子どもたちの栄養面や食生活を支援します

調理員 … 心のこもったおいしい食事を提供します

嘱託医 … 施設の依頼を受けて子どもたちの健康をサポートします

看護師 … 子どもたちの服薬管理など、健康を守ります

事務員 … 施設運営の面から、子どもたちをサポートします



子どもの未来に寄り添います

児童養護施設では、一人ひとりの子どもに合わせて、退所後の未来もサポートしています。子どもたちの希望にあわせて就職や進学を自らの意思で選択できるよう支援しています。近年では、助成金や制度の充実もあり、大学などに進学する子どもも増えてきています。また、入所中の子どもたちに対して、施設を退所した後の暮らしを想定した支援も行っています。

例えばこんなことをしています

- 栄養バランスを意識した簡単な料理を自分で作る
- 1か月の生活費の予算を立てて、日用品の買い出しをする
- 施設内にひとり暮らしをイメージした個室を設け、短期間暮らす

さらに、各施設によって取り組みはさまざまですが、一人ひとりに寄り添って、入所中だけでなく、退所後も見守り続けています。

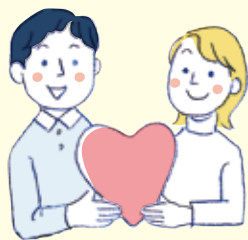
例えばこんなことをしています

- 退所後の家探しや引越し準備を手伝う
- 退所後も施設や施設の近くのアパートで暮らす若者の生活を見守る
- 退所後住み込みの仕事をしていた若者が仕事を失った時、状況が安定するまで居場所を提供し、悩みごとに一緒に対応する

あたたかい思い出

数年ぶりに彼氏と帰省した卒園生。食事中、彼から「明日プロポーズする」と内緒の相談を受けました。

翌日、見事婚約した二人が報告に訪れ、「婚姻届の証人になってほしい」との依頼が。担当職員は家族のような絆に感無量。施設を出た後も人生の節目をともに喜べる、あたたかなつながりがここにはずっと続いています。



一人暮らしの卒園生から「施設のあの味がどうしても作れない」と相談がありました。担当職員がアパートを訪ね、一緒に台所に立って懐かしの味を再現しました。

完成した料理を囲んで弾む会話。自立後も、日常の小さな困りごとに寄り添い、食を通じて絆を深め合う。児童養護施設は、卒園後もずっとつながっていただけるあたたかな場所です。



全国児童養護施設協議会（全養協）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル
社会福祉法人全国社会福祉協議会 児童福祉部内

TEL: 03-3581-6503 FAX: 03-3581-6509 URL: <https://zenyokyo.gr.jp>